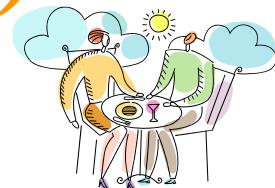


第15回 全国食事サービス活動セミナー ～食と地域の関係づくり・在宅ケア～



独居や高齢者のみ世帯の増加、地域からの孤立や無縁社会問題、「施設から在宅へ」と制度が
転換する中での地域の受け皿の問題…。高齢社会の進展に伴って地域包括ケアの確かな整備と
コミュニティ施策の推進が強く望まれています。身近な「食」をキーワードに、ケアが必要な人の暮らしを考えてみませんか。

■日 時:平成 24 年 7 月 15 日(日) 10:00～16:00 (開場9:30)

■会 場:飯田橋セントラルプラザ 12 階ホール (東京都新宿区神楽河岸 1-1 飯田橋駅ビル内)

※JR 総武線「飯田橋駅」西口を出て右に曲がり、右側前方

地下鉄「飯田橋」をご利用の場合は「B2b」出口よりセントラルプラザ 1 階に直結

■参加費:2,000円(会員 1,500 円/大学生・大学院生 1,000 円)

～プログラム～

<セッション1> 「介護保険制度の改正と地域包括ケア等の施策動向について」

厚生労働省老健局 高齢者支援課

<セッション2> 「ケアが必要な人の食をどう守るか/支えるか」

大野 更紗 さん 作家・難病当事者 「困ってるひと」(ポプラ社)著者

川口 有美子 さん 日本 ALS 協会理事 NPO 法人さくら会理事 「逝かない身体」(医学書院)著者

新城 拓也 さん 緩和ケア専門医 しんじょう医院院長

司 会 高見澤 たか子 さん ノンフィクション作家

<セッション3> 「事例報告:食を関係づくりに生かすしくみとして」

NPO 法人配食サービスの会 積木理事長 後藤喜久子 さん(横浜市栄区)

NPO 法人 NPO スバル理事長 村居ブリギッテ さん(大阪市平野区)

司 会 清水 洋行 さん 千葉大学文学部社会学講座准教授

コメント 山崎 美貴子 さん 東京ボランティア・市民活動センター所長

主催:全国老人給食協力会

共催:東京ボランティア・市民活動センター

後援:厚生労働省(申請中)/公益財団法人さわやか福祉財団/NPO 法人高齢社会をよくする女性の会

協賛:ジョンソン&ジョンソン社会貢献委員会/味の素株式会社/明治安田生命保険相互会社/王子ネピア株式会社/

株式会社鴻池組東京本店/日産労連/東京福祉バス株式会社

【お問合せ先】全国老人給食協力会: TEL 03-5426-2547 FAX 03-5426-2548 Eメール info@mow.jp

【お申込み方法】電話、ファクス、全国老人給食協力会ホームページ(<http://www.mow.jp/>)「セミナー参加受付フォーム」より受付

セッション2 「ケアが必要な人の食をどう守るか／支えるか」

「食」は文字通りの「命の綱」。最後まで必要な「食べること」について、慢性疾患や難治性疾患の在宅支援や看取りの現場、難病当事者の立場からお話していただきます。在宅ケアの栄養管理や胃ろう、終末期の食を通して、生と暮らしに直結する「食」について考えます。

●**大野更紗さん**（作家・難病当事者 「困ってるひと」(ポプラ社)著者）

大学院に進学しNGO活動に没頭していた2008年、自己免疫疾患系の難病を発病、その検査と治療の日々を昨年「困ってるひと」(ポプラ社)として発表し話題になった。難病当事者の自身の経験を通して社会保障や医療のシステムについて発信している。

●**川口有美子さん**（日本 ALS 協会理事 NPO 法人さくら会理事 「逝かない身体」(医学書院)著者）

1995年に母がALS(筋萎縮性側索硬化症)を発症、家族介護をしながら介護事業所、ALS専門のヘルパー研修を立ち上げてきた。患者会や執筆の活動の他、難治性疾患克服研究と重度障害者の地域生活のための政策立案に携わっている。

●**新城拓也さん**（社会保険神戸中央病院緩和ケア病棟専任医師(前職)しんじょう医院(準備中)院長)

緩和ケア専門医として数千人の末期がんの患者を看取ってきた。現在は2012年夏に開業予定のしんじょう医院の準備と近隣の訪問診療クリニックで非常勤医師として活動。緩和医療学会 オンラインジャーナル編集委員会、緩和医療ガイドライン作成委員会でも活動している。

◇**司会:高見澤たか子さん**（ノンフィクション作家）

セッション3 「事例報告:食を関係づくりに生かすしくみとして」

安心して暮らしつづけられる地域には食の支援サービスは欠かせません。各地でさまざまな事業者が食事サービスを手がけているなか、住民参加による食事サービスの意義はどのようなところにあるのでしょうか。今回は2つのグループの取り組みを事例に、同じく食の支援を軸にしつつも、それぞれの地域が抱えるニーズに対応した個性豊かな展開に着目し、住民参加による小さなグループが生み出す社会的効果について考えます。

●**NPO 法人配食サービスの会 積み木理事長 後藤喜久子さん**(横浜市栄区)

1994年10月に発足。横浜市栄区で、週4回の配食サービス、子育てママのための料理教室、会食会など多彩な食の支援活動とともに、地域のたまり場でのさまざまな交流活動を展開。公的施設も活用しながら、小さなエリアで多様な支援と交流の場を生み出している

●**NPO 法人 NPO スバル理事長 村居ブリギッテさん**(大阪市平野区)

2004年12月に発足。大阪市平野区は公営住宅が林立し、高齢化率が5割を越えるエリアも。大規模な団地の狭間にある文化住宅を拠点に365日、1日2食の配食サービスを通じて高齢者の食を支えながら、孤立しがちな地域の暮らしを変えることをめざす。

◇**司会:清水洋行さん**（千葉大学文学部社会学講座准教授）

◇**コメント:山崎美貴子さん**（東京ボランティア・市民活動センター所長）

第15回全国食事サービス活動セミナー 参加申込書

宛先 FAX 03-5426-2548

お名前:	団体名:	(<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員)
ご住所: 〒		
電話:	Fax	Mail:

※受付後、FAXで受付番号をお知らせします。当日は受付番号を控えてお出かけください。